

財務報告

2011年度(2012年3月期)の決算は、新日本有限責任監査法人様とのアドバイザリー契約のもと、NPO会計基準に則り確定しました。そのハイライト版を公開しています。

貸借対照表 2012年3月31日現在

活動計算書 2011年4月1日～12年3月31日

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金及び預金	22,326,897	
売掛金	23,593,164	
貯蔵品	11,731	
立替金	111,080	
前払費用	1,209,855	
未収入金	9,426,163	
流動資産合計		56,678,890
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	5,251,557	
建物附属設備	2,679,568	
車両運搬具	8,726,199	
器具備品	150,000	
土地	2,400,000	
有形固定資産計		19,207,324
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	2,556,971	
無形固定資産計		2,556,971
(3) 投資その他の資産		
NPOカタリバ東北復興支援基金用預金特定資産	104,616,516	
長期前払費用	79,880	
敷金	1,146,000	
投資その他の資産計		105,842,396
固定資産合計		127,606,691
資産の部合計		184,285,581
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	2,890,358	
未払金	14,724,004	
預り金	3,032,414	
前受助成金	8,692,296	
未払法人税等	135,900	
未払消費税等	1,019,800	
流動負債合計		30,494,772
負債の部合計		30,494,772
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
NPOカタリバ東北復興支援基金	102,670,683	
指定正味財産合計		102,670,683
2 一般正味財産		
前期繰越正味財産	10,243,482	
当期正味財産増加額	40,876,644	
一般正味財産		51,120,126
正味財産の部合計		153,790,809
負債の部及び正味財産の部合計		184,285,581

科目	金額 (単位:円)	
一般正味財産増減の部		
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	1,723,000	
賛助会員受取会費	1,484,000	
団体会員受取会費	400,000	3,607,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	22,890,603	
指定正味財産の部より受取寄付金振替額	108,697,843	131,588,446
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	7,370,000	
指定正味財産の部より受取助成金振替額	22,770,524	30,140,524
4. 事業収益		
人づくりを通じた社会活性化に関する事業収益	356,242	
キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業収益	34,420,023	
普及啓発事業収益	2,533,577	37,309,842
5. その他収益		
受取利息	9,983	
雑収入	11,490,768	11,500,751
経常収益計		214,146,563
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	78,335,160	
(2) その他経費	79,367,195	
事業費合計		157,702,355
2. 管理費		
(1) 人件費	5,152,800	
(2) その他経費	9,648,864	
管理費合計		14,801,664
経常費用計		172,504,019
当期経常増加額		41,642,544
III 経常外費用		
1. 雑損失	630,000	
経常外費用計		630,000
IV 法人税等		
当期一般正味財産増加額		135,900
前期繰越一般正味財産額		40,876,644
次期繰越一般正味財産		10,243,482
		51,120,126
指定正味財産増減の部		
I 受取寄付金		
受取寄付金		151,458,137
II 受取助成金		
受取国庫補助金等	20,370,524	
受取民間助成金	62,310,389	82,680,913
III 一般正味財産への振替額		
当期指定正味財産増加額		△ 131,468,367
次期繰越指定正味財産		102,670,683
		102,670,683
次期繰越正味財産		153,790,809

(注) NPO会計基準に則り、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

東北復興事業への寄付金の活用方針につきまして

2011年度、東北復興事業の開始による寄付収入の増加などに伴い、総収入は316百万円(10年度66百万円)と増加しました。一方、スタッフの雇用や送迎バス代などコラボ・スクールの運営費も加わった結果、経常費用も172百万円(10年度61百万円)と増加しました。コラボ・スクールは、当初の計画を延長して数年間継続的に運営する予定ですが(※詳しくはp20参照)、継続的な事業展開を前提にした財務計画では、現状では2013年度には運営資金が不足する試算となっております。また、2011年度には多数の法人・個人からご寄付をいただきましたが、東日本大震災から時間が経過するとともに、金額も減少することを想定しております。そこで、2011年度に東北復興事業への使用を目的としていただいた寄付金・助成金234百万円のうち、131百万円を「一般正味財産」に振替えて11年度の支出に充て、残りの102百万円を「指定正味財産」として、12年度以降に繰越して使用いたします。この指定正味財産が公正に管理され、東北復興事業に適正に活用されるため、NPOカタリバ内に「NPOカタリバ東北復興支援基金」を設立いたしました。基金は、NPOカタリバが行う他の特定非営利活動資金と区分するとともに、基金の被災地支援活動費への取崩しについては、毎期首に事業計画を検討し、理事会の決定をもって行うなど、基金の公正な活用に注力してまいります。NPOカタリバは、2011年度にいただいた寄付金を、公正かつ長期的に運用しながら、被災地に根を下ろした継続的な支援活動を行ってまいります。また、コラボ・スクールの数年間の継続的運営を前提に、想定される資金不足に対処するため、引き続きファンディングに注力するとともに、行政予算や事業収入などさまざまな関係者との協働による運営資金の調達にも、チャレンジいたします。これらにより活動の持続可能性を担保したうえで、「東北から、10年後のイノベーターを輩出する」を目指して教育活動を行ってまいります。